



平成29年6月9日
海上保安庁

西之島の噴火について（6月6日観測）

6月6日午後4時3分から午後4時12分の間、当庁羽田航空基地所属航空機 LAJ500により、西之島の火山活動状況を確認しました。

・火山活動の状況

火砕丘中央の噴火口から断続的に噴火が発生し、噴石と灰色の噴煙を放出していました。（図1参照）

新たに西岸から海へ流入する溶岩流を確認しました。（図2、3参照）

火山活動が活発な状態が続いていますので、海上保安庁では引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



図1 火砕丘と噴煙（6月6日撮影）



図2 西側の溶岩流先端からの白色噴気（6月6日撮影）

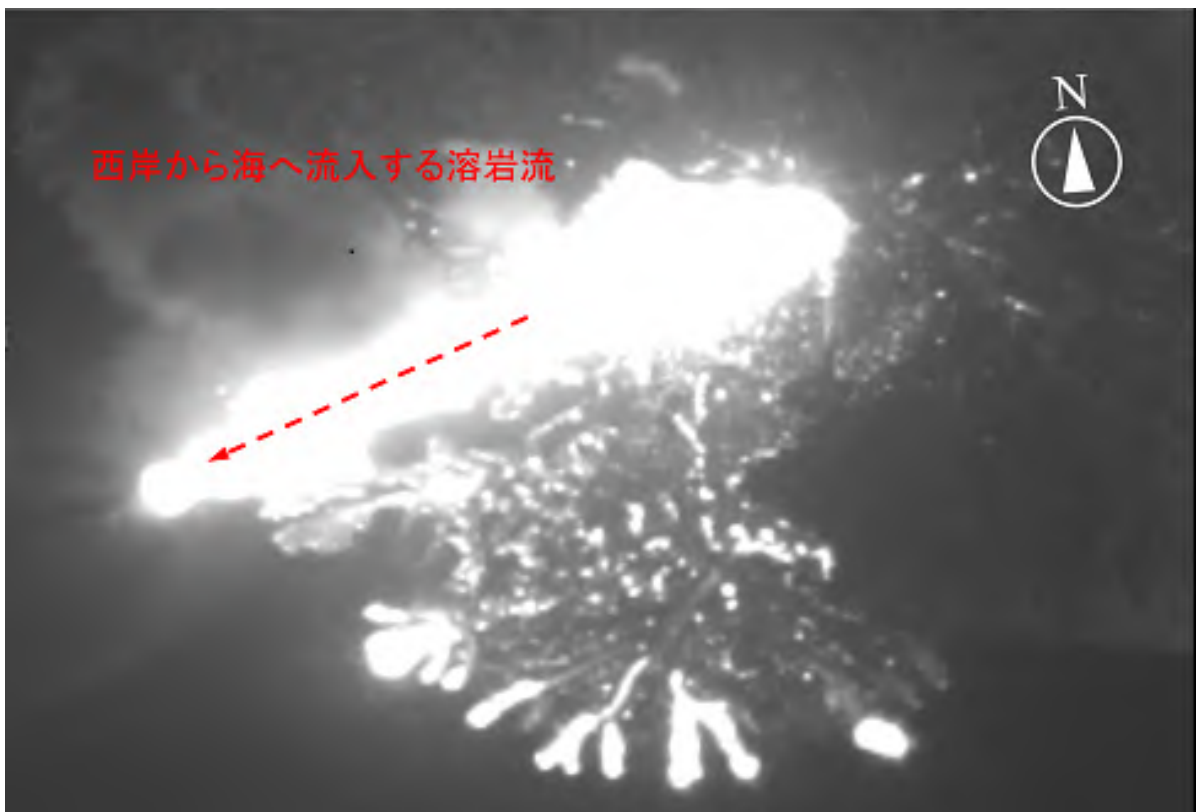


図3 熱画像（南側から見た溶岩流（6月6日撮影））